

第59回日本光学会総務委員会議事要録

日 時：2022年9月10日(土) 13:20~16:10

場 所：Web会議

出席者：山口進会長, 他9名

1. 審議事項

- ・OPJ 2022の開催方法などについて議論された。
- ・第49回冬期講習会の開催方法などについて議論された。
- ・第48回光学シンポジウムの開催案について議論された。
- ・OPJ 2023の開催案について議論された。

2. 報告事項

- ・「光学」, 「Optical Review」の現況について
- ・会員数の推移について

「光の極限性能を生かすフォトニックコンピューティングの創成」第1回公開シンポジウム(学術変革領域研究(A))

本学術変革領域研究は、光の極限性能を生かして、光科学技術と情報科学技術を高度に融合したフォトニックコンピューティングの創出を目指します。本シンポジウムでは本領域の設立趣旨、フォトニックコンピューティングへの期待、各計画研究の内容をご紹介します。

日 時：2023年3月27日(月) 13:30~17:00

会 場：東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール(東京都文京区本郷7-3-1) *現地開催とオンライン聴講(Zoom配信)によるハイブリッド形式

主 催：日本学術振興会学術変革領域研究(A)「光の極限性能を生かすフォトニックコンピューティングの創成」

協 賛：日本光学会, 電子情報通信学会, 応用物理学会

参加費：無料

参加申込：下記URLからお申込みください。

https://www.photoniccomputing.jp/activities/2023_03_27_symposium.php

申込期限：現地参加; 2023年3月20日(月), オンライン聴講; 当日(希望者が会場定員に達した時点で締め切り。それ以降のお申し込みはオンライン聴講)

問合せ先：東京大学 中田俊彦

電話 03-5841-6882

E-mail toshihiko-nakata@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

JOEM 技術講座「デジタルカラー画像の解析・評価」

日 時：2023年2月2日(木), 3日(金) 10:00~17:00

講 師：三宅洋一(千葉大学名誉教授, 東京工芸大学理事)

場 所：今年度はハイブリッド形式(対面+オンライン)で開催。対面：機械振興会館別館4階, オンライン：Microsoft Teams 使用

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会, 応用物理学会, 日本光学工業協会ほか

参加費：協賛80,410円(テキスト・消費税含む)

定 員：25名(うち対面10名)

申込期限：2023年1月23日(月)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

JOEM 技術講座「光学実験入門」

日 時：2023年2月9日(木) 10:00~17:30, 10日(金) 9:00~15:15(2日間)

講 師：斎藤晴司(元ニコン)

場 所：機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会, 応用物理学会, 日本光学工業協会ほか

参加費：協賛86,020円(テキスト・消費税含む)

定 員：8名

申込期限：2023年1月31日(火)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

公募情報(島根大学)

募集内容：助教または准教授1名(日本人または外国人, 総合理工学部機械・電気電子工学科)

応募締切：2023年1月13日(金) 必着

詳細情報：<http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/faculty/kobo.html>, http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/index_e.html

問合せ先：島根大学 横田正幸

電話 0852-32-6349

E-mail yokota@ecs.shimane-u.ac.jp

お詫びと訂正

下記の記事に、誤りがありました。ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

○第 51 巻第 9 号 解説「分光分析および X 線 CT による偽造医薬品の識別」(吉田直子著, pp. 405-411) メールアドレス

(誤) naoko@p.kanazawa-ui.ac.jp

(正) naoko@p.kanazawa-u.ac.jp

○第 51 巻第 11 号 p. 510

次号予告に第 51 巻第 12 号の目次が掲載されるべきところ、誤って第 52 巻第 1 号の目次が掲載されておりました。深くお詫び申し上げます。

日本光学会 *news* の掲載申込先 :

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 *news* 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第 50 巻第 11 号 (2022 年 11 月号) 目次

「多彩な発展を遂げるホログラフィ」特集号

レーザーコンパス

多彩な発展を遂げるホログラフィ……………石橋爾子 (603)

《特集》

レーザー解説

「多彩な発展を遂げるホログラフィ」特集号によせて

……………小倉裕介 (604)

自然光デジタルホログラフィの現在と将来展望

……………田原 樹 (606)

超高速計算に基づくインタラクティブホログラフィ

……………西辻 崇 (611)

定量位相イメージングを用いた組織診断……………高林正典 (616)

超短パルスレーザー光の伝播とその偏光成分の同時動画像記録

……………井上智好, 佐々木みか, 松中敦志, 角江 崇, 的場 修, 西尾謙三, 栗辻安浩 (622)

ホログラフィックメモリーにおけるピクセル間クロストークの

抑制と利用……………藤村隆史 (627)

2 光子励起ホログラフィック顕微鏡による高度光遺伝学応用

……………的場 修, 全 香玉, 米田 成, 森田光洋 (633)

レーザーフラッシュ

第 13 回アジアパシフィック近接場光学国際会議 (APNFO13)

参加報告……………小野篤史 (639)

著者紹介

(641)

セルフフォーカス

(643)

「応用物理」第 92 巻第 1 号 (2023 年 1 月号) 予定目次

解 説

音波を用いた磁気回転効果……………能崎幸雄

研究紹介

ロータス型ポーラス金属による沸騰促進を利用した沸騰冷却技術

……………井手拓哉, 村上政明, 結城光平, 結城和久

トポロジカル物質を用いた薄膜磁気センサ

……………藤原宏平, 塩貝純一, 塚崎 敦

酸化ニッケルを用いた可視光透過型デバイスの提案……………杉山 睦

ハライドペロブスカイト半導体の非線形レーザー分光

……………金光義彦, 廣理英基

リチウム過剰系正極材料の低結晶性の機能

……………大石昌嗣, 廣井 慧, 尾原幸治

基礎講座

表面分析におけるデータ解析の自動化 : 自動データ解析を行うためのデータ駆動型アプローチ

……………吉川英樹, 篠塚寛志, 永田賢二

今月のトピックス

桁違いに大きな話、桁違いに小さな話……………保坂一元

ホッとひといき

単身子育て研究者の苦悩と工夫……………田川美穂

応物系スタートアップ

エンジニアから社会起業家への軌跡……………下村明司

第二次推薦募集中

2022 年 日本の光学研究
(一般社団法人 日本光学会 機関誌「光学」特別企画)

1. 研究分野

光物理/結像素子・光学機器/X線光学/分光/レーザー/量子光学・非線形光学/近接場光学/光応用計測/干渉計測/光情報処理/画像処理/オプトエレクトロニクス・光デバイス/光通信/光記録/視覚光学/光源・測光・照明/医学・生物応用光学/光学教育など

2. 推薦対象

2022 年に発表・刊行された研究で、日本の研究グループが発表したもの/第三者の評価を得た論文誌に掲載されたもの/他薦(ただし、今回は 2022 年 11 月 1 日から 12 月 31 日までに発表された論文が対象です。)

3. 推薦方法

右の QR コードもしくは、以下の URL にアクセスしていただき、下記内容を入力してください。

<https://forms.gle/uY7gEuq4oYiaU2xD6>



推薦者の①メールアドレス/②氏名/③所属/推薦する研究成果の④著者名/⑤論文名・発表題目/⑥所属/⑦雑誌名・学術集会名/⑧巻・号・ページ・年/⑨学術雑誌掲載論文であれば論文のリンク・DOI/⑩論文概要と推薦理由(200 文字以内)

4. 締め切り

2023 年 1 月 6 日(金)

5. その他

掲載する研究は、推薦された研究の中から、編集委員会が設けた選定委員会で協議の上、決めさせていただきます。

推薦者のお名前が掲載されることはありません。また、推薦者に記事の執筆を依頼することはありません。

お問い合わせは、杉田(本号主担当)宛にお願いします。

一般社団法人 日本光学会「光学」編集委員会
本号主担当 杉田篤史 (静岡大学)
sugita.atsushi@shizuoka.ac.jp

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2022年11月10日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	チームオプト株式会社
アンシス・ジャパン株式会社	中央精機株式会社
ウシオ電機株式会社	株式会社東芝
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エクモス	株式会社トプコン
オーウェル株式会社	株式会社ナック イメージテクノロジー
オプトシリウス株式会社	株式会社ニコン
株式会社オプトロニクス社	株式会社ニデック
オリンパス株式会社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
キヤノン株式会社	日本シノプシス合同会社
京セラ SOC 株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社清原光学	浜松ホトニクス株式会社
株式会社光学技研	株式会社日立製作所
興和株式会社	華為技術日本株式会社
株式会社五藤光学研究所	Phase One Japan 株式会社
コニカミノルタ株式会社	富士フイルム株式会社
株式会社三恵舎	古野電気株式会社
株式会社シグマ	株式会社溝尻光学工業所
株式会社スカイテクノロジー	三菱ケミカル株式会社
ソーラボジャパン株式会社	株式会社リコー
株式会社タムロン	

以上 会員数 41 社, 56 口 (五十音順)
